

福祉環境委員会 1年の活動

2013年6月より1年間 福祉環境委員会の委員長を務めました。1年間の主な話題を紹介します。



本会議で委員会の審査結果を報告する。

保健福祉局関連では「**神戸市がん対策推進条例**」を民主党、公明党、自民党より提案。神戸低侵襲がん医療センターの藤井正彦病院長、ひょうごがん患者連絡会の武内務事務局長を参考人として招致しご意見を伺いました。

藤井院長はがんを「小さく見つけてやさしく治す」環境の提供にこれから努力していきたいということで、条例ができれば検診率向上のための啓発や、がんを小さく見つける個別検診などで協力したいと述べられました。

竹内事務局長は、行政が積極的に、また一貫してがん対策に取り組むのを後押しするための条例の必要性や、地域が一体となったがん対策や患者の支援のための市というスケールでの条例制定の意義を述べられました。

3回の委員会審議でこれらの意見や当局との議論を踏まえ、条例の制定に至りました。本条例では神戸市にはがんの予防対策や患者・家族などへの支援の充実を求めています。また、市民には検診の受診に努める

など神戸市のがん対策を市民総ぐるみでの推進を求めています。市長は毎年度、神戸市のがん対策の実施状況を議会に報告することになります。

これから国の介護保険制度の改変に伴い、施設での介護から地域で介護予防から看取りまでの支援体制（地域包括ケア）の構築の必要性が提起されている現状を鑑み、5月には参考人として国際医療福祉大学教授の高橋紘士先生をお呼びして「**地域包括ケア**」についてご講演いただきました。「給付を増やす、施設を増やすばかりの政策では高齢



国の制度設計にも携わっている高橋先生の講演。長田区が医師会と協働で行う介護予防の取り組みも先進事例として紹介された。

化が進展する未来の選択肢を減らしている」「認知症の人だけを集めて、保護とお世話だけでは認知症は進行する。モチベーションを上げる支えが必要。そのため

に地域で多様な人材が支援する体制づくりを」と持論を述べられました。高齢者の幸福の面から考



行政調査で訪れた札幌市の西岡病院。在宅療養支援病院として地域の診療所、介護事業者などと患者情報を共有するなどの連携を行っている。



障がい者が働く施設の手作り商品を販売するふれあい工房が庁舎内にオープン。市議員を代表し応援の辞を述べた。

える制度設計に活かしてまいりたいと思います。

環境局関連では**資源物の持ち去りを禁止する条例改正**が行われました。排出されたゴミの中から資源を持ち去る行為が各地で頻発しており、騒音や散らかりの苦情が多く寄せられていました。11月より「神戸市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例」改正への意見募集をし、2月市会で議案を可決、H26年10月1日からクリーンステーション等からの資源物等の持ち去り行為は禁止されます。地域団体での資源回収がしにくくなるとの声がある一方、地域の美化や不審者対策として強く期待するご意見が私の元にも寄せられています。実効性を高めるためにも各地域でのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



中心市街地に動物愛護センターを設置し、保護犬の譲渡に成果をあげている旭川市。その他札幌の次世代エネルギーパーク、砂川クリーンプラザぐるくるを視察した。

平井まち子 自由民主党 神戸市会議員



□1976年神戸市長田区生まれ（38歳）
□池田小、西代中、長田高校、神戸大学（文学部史学科）卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る。□2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選。□2007年市会議員選挙で5,413票をいただいても10票差で惜しくも次点。□2011年市会議員選挙で5,525票をいただき再選。

役職

- 自由民主党神戸市会議員団 政調会長
- 総務財政委員会 委員
- 大都市税財政に関する特別委員会 理事
- 真珠神戸市議員懇談会 事務局長
- INAC神戸を応援する神戸市議員の会 会長

地域活動

- 長田神社氏子会 参与
- 神戸金型工業会 相談役
- 長田館商組合 顧問
- 兵庫県盲導犬協会 顧問

自由民主党神戸市会議員団

神戸市中央区加納町6-5-1
市役所1号館28階
電話 078-322-5846
Fax.078-322-6164

長田区支部 平井まち子事務所

神戸市長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647
(電話は月～金 9時～17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp